

臨海部 - 環境共生型産業の モデル地域へ



我が国の基幹産業が集積する京浜臨海部。
その中で、地球環境に資する試みを始めている川崎臨海部。
未利用エネルギーの活用、廃棄物の域内循環など、
今までにはなかった新しい取り組みを始めようとしています。
川崎臨海部再生リエゾン推進協議会と
NPO法人産業・環境創造リエゾンセンターが連携して推進する
これからの川崎臨海部の産業モデルはどのようなものか。
環境共生型社会における産業競争力強化とアメニティの向上
をテーマに、新たな川崎臨海部の方向性について考えます。

●日時 平成18年3月23日〔木〕
14:00～17:30〔開場13:30〕

●会場 川崎市産業振興会館1Fホール

●参加費 無料

●定員 300名

●応募締切

平成18年3月20日〔月〕まで申込みを受け付けます。先着順とさせていただきます。ご参加いただけない場合のみ、ご通知します。
ご参加いただける場合は、通知しませんので、当日会場へお越しください。

●主催

川崎臨海部再生リエゾン推進協議会
NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター

●後援

川崎市産業振興財団
独立行政法人都市再生機構

川崎臨海部
再生リエゾン推進協議会
について

NPO法人
産業・環境創造リエゾンセンター
について

21世紀型の新たな産業集積の促進と新たな街づくりをテーマとした「川崎臨海部再生リエゾン研究会」での成果を踏まえ、地元産業界、行政、学識者、地域代表の産学公民が連携し「川崎臨海部再生プログラム」の実践的な推進を目指す組織として平成15年9月に設立されました。

学識者：久保孝雄、大西隆、柏木孝之〔敬称略〕

企業委員：旭化成ケミカルズ、味の素、JFE、昭和電工、新日本石油、新日本石油化学、デイ・シー、東亜石油、東京ガス、東京電力、東芝、東燃ゼネラル石油、日本冶金工業、東日本電信電話、富士電機システムズ

経済団体等：川崎港運協会、川崎港振興協会、川崎商工会議所、川崎南工場振興会、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、東扇島協議会

地域代表：川崎区連合町内会、大師地区町内会連合会、川崎中央商店街連合会、大師地区商店街連合会、田島商店街連合会、川崎駅前商店街連合会

官公庁：川崎市、川崎市産業振興財団、都市再生機構

オブザーバー：内閣官房都市再生本部事務局、経済産業省、国土交通省、神奈川県、日本政策投資銀行、日本貨物鉄道、産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構、浜銀総合研究所

事務局：川崎市総合企画局・経済局、川崎商工会議所

川崎臨海部立地の有志企業メンバーなどが発起して、NPO法人として平成16年7月に設立されました。
産官学、市民との連携のプラットフォーム機能を発揮し、産業の活性化や環境・エネルギー問題の解決に貢献する活動を推進しています。

プログラム

14:00 開会挨拶

川崎臨海部再生リエゾン推進協議会 副会長
川崎商工会議所 副会頭 **西岡 浩史**

14:05 来賓挨拶

川崎市市長 **阿部 孝夫**

14:15 基調講演

「産業・都市構造の高度化と臨海部再生」
専修大学 教授 **平尾 光司**

15:15 活動報告

NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター

15:50 パネルディスカッション

「臨海部-環境共生型産業のモデル地域へ」
コーディネーター
川崎臨海部再生リエゾン推進協議会 会長
東京大学 教授 **大西 隆**

パネリスト

(社)神奈川経済同友会 常任幹事 **星野 幸彦**
味の素(株) 執行役員 川崎事業所長 **倉谷 隆博**
渡辺治建築都市設計事務所長 **渡辺 治**
慶應義塾大学 教授 **石川 幹子**
川崎市 経済局長 **植松 了**

17:20 閉会挨拶

川崎臨海部再生リエゾン推進協議会 顧問
NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター 理事長 **久保 孝雄**
(以上、敬称略)

申込み要領

申し込み用紙に記入のうえ、下記までFAXにて送信して下さい。

《申込み・お問合せ先》

シンポジウム事務局

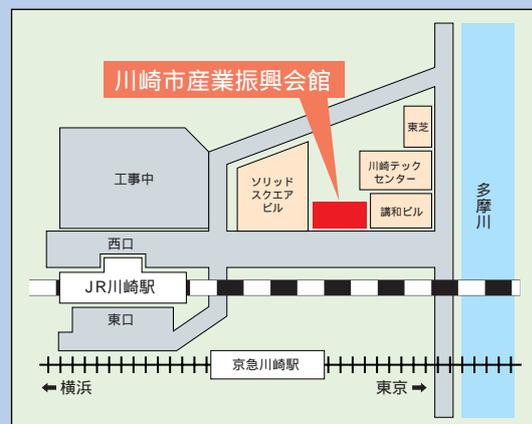
お問合せ先
TEL: 045-502-6893

申込み先
FAX: 045-502-6133

[会 場]

川崎市産業振興会館
(駐車場はございません)
TEL: 044-548-4111

JR川崎駅から 徒歩8分
京急川崎駅から 徒歩7分



臨海部再生シンポジウム2006申込み用紙

送信先FAX: 045-502-6133

氏名	会社名・所属・役職	電話番号	FAX番号
住所: 〒		E-mail	
住所: 〒		E-mail	
住所: 〒		E-mail	